PRESENTED by ARTE MANDOLINISTICA

ウーゴ・オルランディ
10月11日(日) 18:30～コンサート4
「大阪から世界へ」

リカルド・サンドバル
10月10日(土) 19:45～コンサート2
「リカルド サンドバルと仲間たち」

ニコライ・マレツキー(ドムラソロ)
10月11日(日) 17:00～コンサート3
「東京バララライカアンサンブル」

Osaka International Mandolin Festival & Competition 2009

第5回大阪国際マンドリンフェスティバル&コンクール

桑井 謙三
10月11日(日)
18:30～コンサート4
「大阪から世界へ」

吉田 剛士
10月11日(日)
18:30～コンサート4
「大阪から世界へ」

北川 翔
10月10日(土) 18:00～
コンサート1
「北川 翔 バララライカリサイタル」

★審査員／
- 久保田　孝（指揮者・作曲家）
- 桑井　謙三（マンドリニスト）
- 小林　由直（作曲家）
- 仙崎　和男（元京都市交響楽団首席ファゴット奏者）
- 吉田　剛士（マンドリニスト）
- ニコライ・マレツキー（ベラルーシ・マンドリン）
- ウーゴ・オルランディ（イタリア・マンドリン）
- シュテフェン・トレッケル（ドイツ・マンドリン）
- ミヒャエル・トレスター（ドイツ・ギター）

10月10日(土)
12:50開演（12:30開場）

- ●コンクールセミファイナル
- ●コンサート1『北川 翔 バララライカリサイタル』
- ●コンサート2『リカルド サンドバルと仲間たち』
  ゲスト／池田安友子（Perc）

デュオ トレッケル&トレスター
10月11日(日) 18:30～コンサート4「大阪から世界へ」

10月11日(日)
13:00開演（12:30開場）

- ●コンクールファイナル
- ●コンサート3『東京バララライカアンサンブル』ドムラソロ／ニコライ・マレツキー
- ●コンサート4『大阪から世界へ』
  出演(予定)／シュテフェン・トレッケル & ミヒャエル・トレスター (Duo)、ウーゴ・オルランディ、桑井 謙三、吉田 剛士、井上 泰信、ARTE MANDOLINISTICA　他

THE PHOENIX HALL
ザ・フェニックスホール
梅田新道・東南角　ニッセイ同和損保フェニックスタワー内

★入場料／
- コンクール券：1,000円　学生 500円（2日間共通）
- コンサート券：2,000円　学生 1,000円（コンサートいずれか1回）
- 1日券　：4,000円　学生 2,000円（いずれか1日）
- フリーパス　：6,000円　学生 3,000円（2日間すべて）

東京バララライカアンサンブル
10月11日(日) 17:00～コンサート3
「東京バララライカアンサンブル」

■主催／特定非営利活動法人ARTE MANDOLINISTICA（アルテ マンドリニスティカ）■URL／http://www.arte-mandolin.com/
■後援／大阪府・大阪市・文化庁（予定）　■助成／財団法人 ロームミュージック ファンデーション　■チケットお問い合わせ／ARTE MANDOLINISTICA 075-646-3655

Osaka International Mandolin Festival & Competition 2009

ウーゴ・オルランディ（マンドリン）

1958年イタリア・ブレッシア生まれ。ブレッシア音楽教育協会でリガサッキ氏にに師事。1975年よりパドヴァのチェーザレ・ポリーニ国立音楽院のマンドリン科に学び、ジュゼッペ・アネダ氏に師事。1980年よりパドヴァの前記国立音楽院マンドリン科教授、2007年よりミラノ・ヴェルディ音楽院にて教鞭を執る。

クラウディオ・シモーネ率いるイ・ソリスティ・ヴェネティとともに世界各国を演奏旅行。これまでに数多くのレコード、CDを収録している。世界を代表するマンドリニストの1人。

リカルド・サンドヴァル（マンドリン）

ベネズエラ出身のマンドリニスト。クラシック演奏家かつ民俗音楽演奏家としての両活動を行う。祖国の伝統音楽であるベネズエラ音楽の中心的な楽器であるマンドリンとバンドーラを学び、カラカスの音楽大学において、Ivan AdlarとAngel Pineroのもとで、クラシックマンドリンの高等教育を受け、さらにドイツのケルン音楽大学でGertrud WeyhofenとMarga Wilden-Husgenに師事した。これまで、彼はヴァラッツェ（1998年）やシュワインフルト（1999年）での国際コンクールで受賞している。

また、神戸（2000年）やスペインのラ・リオハ（2000年）、セゴルベ（2001年）、フランスのアジャクシオ（2003年）やルーネル（2004年）で開催された音楽祭に参加している。ソリストとしても、また、ベネズエラ音楽やラテンアメリカ音楽の著名アンサンブルのメンバーとしても、彼は熟達したレコーディングアーティストである。現在、彼はフランスとルクセンブルグで教鞭をとっており、コンサートのためにヨーロッパや南米に頻繁に招待されている。

北川 翔（バラライカ）

合唱団白樺創立時からの常任指揮者であった北川剛を祖父に、東京バラライカアンサンブル創立・主宰、バラライカ奏者であった北川つとむを父に持ち、幼少よりロシアの音楽に親しむ。7歳で舞台デビュー（東京、バリオホール）。

バラライカを北川つとむ、ピアノを新井雅代、作曲・編曲法を中島克磨各氏に師事。04年9月、ロシア国立ラフマニノフ記念ロストフ音楽院に入学。バラライカをアレクサンドル=ダニーロフ、シンフォニー・オペラ指揮法をアレクサンドル=ゴンチャロフ、セミョーン=コーガン、編曲をゲンナージー=タルスチェンコ各氏に師事。05年5月、日本人初となる、ロシアでのバラライカのソロリサイタルを開催（ロストフ音楽院小ホール）。06年2月、A.ダニーロフ教授還暦記念演奏会（ロストフ州立フィルハーモニー）、P.ネチェポレンコ90歳記念フェスティバル「蒼々たる楽器製作者達」（モスクワ、グネーシン記念ロシア音楽アカデミー）に出演。聴衆だけでなく、現地のマスコミからも絶賛を浴び、TV、新聞でも大きく取り上げられた。

06年4月、日本ソロデビューリサイタルを開催（東京、カザルスホール）。07年7月、1stアルバム「Sounds of Balalaika」発売。08年11月、第7回国際ロシア民族楽器コンクール<ベロゴーリエ杯>バラライカ部門第1位（ベロゴロド市）。ロシアの音楽を、祖父、父、子と三代にわたり継承する稀有な環境ばかりでなく、その豊かな音楽性とテクニックは、本場でも高い評価を得、日本はもちろん、広く世界から注目される、新進気鋭のバラライカ奏者である。

東京バラライカ・アンサンブル ～ロシア民族楽器オーケストラ～

1982年、故・北川つとむ（1956 ～ 2005）がロシア民族楽器オーケストラとして結成。'92、'93年、ロシアで開催された「国際民族楽器フェスティバル」に日本代表として参加。'01年7月のロシア公演では、ヴォルガ河畔の各都市で演奏。国際親善を図りながら、その演奏は高い評価を受けた。

活発な演奏活動ばかりでなく、来日するアンサンブルやソリストのプロデュースも手がけている。日本で初めてのロシア民族楽器オーケストラとして発足以来、二期会はじめ多くの声楽家や合唱団と共演。'05年9月、アンサンブルの主宰・指揮・編曲者であった北川つとむ逝去（享年49歳）。'06年より、吉岡弘行を客演指揮者に迎え、同年7月25日カザルスホールにおいて「北川つとむ追悼演奏会」。来春4月川口リリア音楽ホールにて「第3回定期演奏会」開催予定。

SCHEDULE

10月10日（土）

12:30 開場

12:50 **開会式**

13:00 **コンクールセミファイナル開演**

18:00 コンサート1
「北川 翔 バラライカリサイタル」

19:45 コンサート2
「リカルド サンドバルと仲間たち」
ゲスト／**池田安友子（Perc）**

10月11日（日）

12:30 開場

13:00 **コンクールファイナル開演**

17:00 コンサート3
「東京バラライカアンサンブル」
ドムラソロ／**ニコライ・マレツキー**

18:30 コンサート4
「大阪から世界へ」
出演（予定）／**シュテフェン・トレッケル & ミヒャエル・トレスター（Duo）、ウーゴ・オルランディ、桑井 謙三、吉田 剛士、井上 泰信、ARTE MANDOLINISTICA 他**

2009年10月10日土・11日日

THE PHOENIX HALL **ザ・フェニックスホール**
梅田新道・東南角 ニッセイ同和損保フェニックスタワー内